

令和8年度

人権・同和教育地区別懇談会

人権を考える集い

北山崎地区の皆さんへ

中村地区区長会 会長 折井 敬
中村地区公民館 館長 安田 敦

懇談会テーマ：認知症問題とどう向き合うか
～人権尊重の視点で～

地 区	実 施 日	会 場
三 秋	10月6日(火)	三秋集会所
中 村	10月8日(木)	中村本村集会所
森	10月13日(火)	森集会所
本 郡	10月15日(木)	本郡集会所
尾 崎	10月26日(月)	伊予市総合保健福祉センター
三島町	11月2日(月)	三島集会所
市 場	11月5日(木)	市場集会所
稲 荷	11月11日(水)	稲荷東集会所

※開始時間はいずれも午後7時から。

午後7時から開会

- 1 区長あいさつ
- 2 講師紹介、先生方の紹介
- 3 小・中学校での人権・同和教育の取組状況など
- 4 啓発ビデオ視聴（上映時間32分）
「母のさがしもの ～認知症とともに生きる～」
- 5 講話
教育委員会社会教育課 社会教育指導員、小・中学校教諭

※懇談会は70分程度の予定です。



年に一度の
人権意識の
アップデートをしよう!

お問い合わせは
中村地区公民館
(TEL 982-0121) へ。

【啓発ビデオ作品の紹介】

誰もが認知症に関わる可能性がある現代社会において、認知症の人が尊厳を保ちながら希望をもって暮らしていくためには、家族をはじめ周囲の人が認知症に対する正しい知識と理解をもつことが重要となります。突然、認知症をわずらった母親の単身介護で苦悩する息子の心の葛藤を描きながら物語は進んでいきます。尊厳を傷つけることなく、認知症の人にどう寄り添っていけばいいのか、認知症を含む全ての人が相互に人格と個性を尊重しつつ支えあいながら、「ともに生きる」社会の実現をめざすためのヒントとなる作品となっています。

登場人物一覧



江村 隆史

主人公。
会社員で家族を一人で支える
シングルファーザー。
家事に加え、仕事と、認知
症を発症した母の介護の両
立で疲弊し、孤立無援の状
況に陥る。



江村 早苗

隆史の母。次第に物忘れが増え
るなど認知症の症状が現れ始め
徘徊を繰り返すようになる。し
ばしば彼女が探すものとは…
物理的「モノ」？失った記憶？
安心できる居場所？



江村 快人

隆史の息子。中学生。
認知症を発症した祖母に戸惑いな
がらも、心寄り添い、次第に注意深く
見守るようになる。



深川 渚

ケアマネジャー。
認知症カフェで、母の徘徊に悩む隆史
から相談を受け、「安心できる場所を
求めているのかも。不安を和らげるの
は寄り添うこと」だとアドバイスする。



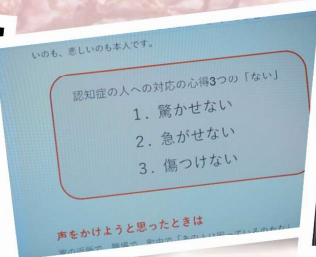
五十嵐 修平

隆史の上司。
妻が若年性認知症のため、介護
に悩む隆史の立場や心情を理解
している。

65歳以上の認知症患者数は2020年に約600万人、2025年には約700万人と、今後高齢者の約5人に1人が認知症になるとも言われています。誰しもが認知症に関わる可能性のある現代社会において、認知症の人が尊厳を保持しながら希望を持って暮らしていくためには、周囲の人が認知症に対する正しい知識と理解を持つことが重要です。

認知症は人によって症状も様々です。本企画ではある家族の視点を通じて、症例を織り交ぜながら描くことで認知症に関する理解を深め、認知症の人の不安や家族の悩みを知り、本人や家族の孤立を防ぐために介護者や地域の交流の重要性を示すと同時に、本人の気持ちに寄り添うことの大切さを学びます。

認知症の人を含むすべての人が相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら『ともに生きる』社会の実現をめざして、このドラマ教材を制作しました。



あらすじ

会社員の江村隆史(50)は中学生の息子・快人(14)と二人暮らし。

ある日の仕事中、隆史のもとに一本の電話が。それは母・早苗(77)が警察に保護されたという知らせ。「……またですか？」実は一か月前から、認知症の早苗を家で介護するようになった。しかし早苗は徘徊だけでなく、食事したことを忘れ、衣服を正しく着ることができなくなり、家中を歩き回って何かを探す毎日。隆史は振り回され続け、既に疲労困憊だ。

突然襲ってきた母の認知症。隆史はネットで情報収集するも、機械的な回答ばかりで介護の一步目がわからない。地域包括支援センターや認知症カフェの存在を知るも足踏み。施設に預けるのはお金がかかるし、罪悪感もある。妻は既に他界しており、兄弟もいない。だからといって快人には迷惑をかけたくない。孤立無援の隆史は、单身介護の壁にぶち当たる。

一方で、「自分に何かできることはないか」と考え始める快人。小さい頃から母親代わりをしてくれた早苗には恩があるからだ。しかし隆史は、家事に仕事に子育てに介護、全てを一人でこなそうとする。不満が募り始める快人。

そんな時、早苗がまたしても徘徊をしてしまう。赤信号にも関わらず横断歩道を渡ろうとする早苗。そこに車が突っ込んできて……。

認知症の母にどう寄り添えばいいのか。その答えのヒントは、早苗がずっと探していたものに隠されていた――。

